

150周年事業コンセプト

令和7年「さくらんぼ栽培150周年」は、山形県のシンボリックな果樹であるさくらんぼを筆頭に、本県の果樹産業にとっての記念すべき年「やまがたフルーツ150年記念」と位置付ける。

やまがた
フルーツ150年

日本の果樹産地
をリード

「果樹王国」を名乗る県は多数ある中で、果樹産地のトップランナーとしての本県の地位を確立すべく、他県を巻き込んで我が国のフルーツ消費を盛り上げる。

県民参加型

県だけでなく、市町村、JAグループ、企業や各種団体などを広く巻き込み、県民参加型の事業を展開する。

歴史の振り返り
と未来志向

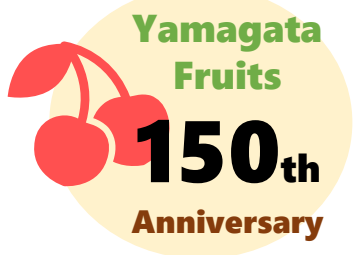
本県の果樹農業の歴史を振り返るとともに、次世代の果樹農業の発展を展望する。

150周年事業の構成

- さくらんぼ栽培150周年は、
 - ①メイン企画（PR協議会主催の公式イベント・公式グッズ等）
 - ②関連企画（イベントや記念商品等）
 から構成するものとし、共通ロゴやキャッチフレーズなどによって統一感を演出する。
- メイン企画はPR協議会が主催する。
- 関連企画は、さくらんぼをはじめとした県産フルーツのPRに資する取組みで150周年事業に賛同するものを広く県内から募集し、PR協議会が認定を行う。（原則として令和7年度に実施するもの。既存事業も可）認定された企画はロゴの使用を許可し、特設ポータルサイトで発信する。

《記念ロゴマーク等の作成》

(イメージ)

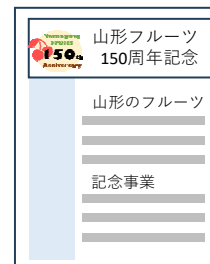


《企画の募集》

PR協議会	メイン企画
A市	さくらんぼ祭り
B観光協会	特別ツアー
C農協	首都圏でのフェア
D株式会社	記念商品発売

関連企画

《特設サイトでの発信》



- 150周年記念のロゴマークやキーデザインを作成
- キャッチフレーズを公募して各所で使用

- 150周年事業の趣旨やさくらんぼを始めとする本県の果樹農業の歴史や産地を紹介
- メイン企画と関連企画の情報を発信
- 令和6年度中にサイト開設